
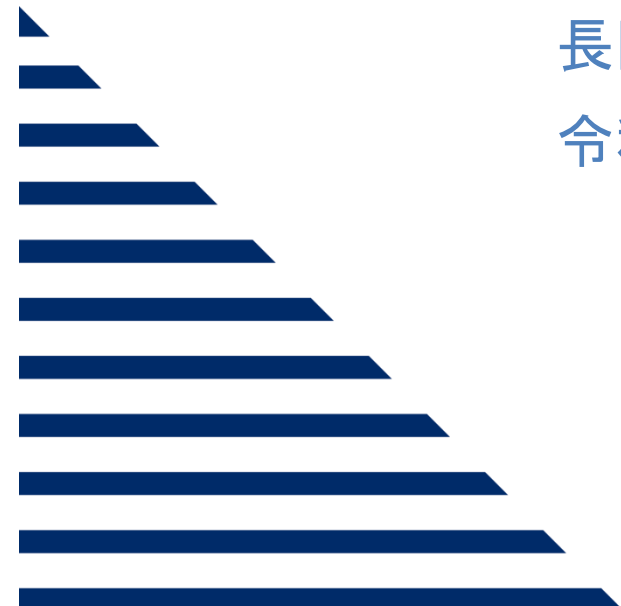




長岡京市第二期環境基本計画実施計画  
進捗報告書  
令和2年度評価結果



つむぎ織りなす  
“環境の都” 長岡京



長岡京市役所  
令和3年7月

# 目次

2020ハイライト！	1
長岡京市第二期環境基本計画について	3
1、エネルギーを大切にすまちづくり	4
2、資源循環型社会の形成	12
3、自然環境の保全	17
4、快適な都市環境づくり	22
5、協働・環境学習・エコアクションの推進	28
●長岡京市第二期環境基本計画成果指標の現状値について	33
●令和2年度全体の評価	34
●長岡京市生活環境審議会の評価・意見および市の考え方	35

# 2020ハイライト！

## 第12回環境フェアの開催

例年、中央公民館を会場に開催している環境フェアですが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コミュニティラジオ「FMおとくに」と、市ホームページを使って、10月31日（土）に、オンエア・オンラインにて開催しました。

ラジオの冒頭には、地球温暖化やSDGsをテーマに、市長をはじめ、環境問題に対し活動されている大学の先生や団体の方を交え、トークライブを行いました。トークライブは、2050年ゼロカーボンの未来像に想いを馳せる内容で、リスナーの方とも、目指すべき将来像について共有できたのではないかと思います。

その他、環境の都賞の表彰や、団体・事業者の環境活動の紹介を行い、慣れない実施方法ではありましたが、参加者からは、「参加しやすい」などの好評を得ました。

また、市ホームページでも団体・事業者の環境活動紹介を行い、広く多方面へ啓発することに努めました。

従来の会場型の実施方法であれば、会場に足を運んでいただかないと啓発が届かないということになりますが、今回のラジオ・市ホームページでの開催により、これまで啓発できなかった層への啓発ができたのではないかと評価しています。

今後は、コロナ禍以後も、今回の実績を生かし、多様な発信方法を併用することを考えていきたいと思っております。



### ■新型コロナウイルス感染症の流行について

令和元年度末から日本でも猛威をふるい始めた新型コロナウイルス感染症の影響により、本市においても、多くの事業が中止を余儀なくされ、今年度の評価において、未達成の事業が多くありました。そのような中においても、感染拡大防止に配慮しながら、同時に環境保全啓発を続けていくため、デジタルを活用するなど、可能な限り事業の実施方法を工夫しました。

一方、社会全体では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を進める中で、新しい生活様式を模索する動きが広がってきました。デジタル化・テレワークの推進による働き方の見直しなどが挙げられますが、それは同時に、ペーパーレス化、移動に伴うCO<sub>2</sub>の削減など、環境とも関わる部分が多くあります。コロナ禍をきっかけに、環境保全の分野においても、これまでの常識を変えるような変革が求められているのかもしれない。

## 令和2年度「環境の都」賞受賞者



### 株式会社松栄堂 長岡京工場

松栄堂様は、京都府レッドリストで絶滅寸前種とされる藤袴を2007年から育成され、毎年市内各所に展示し、保全啓発をされています。また、同じく京都府レッドリストで絶滅寸前種とされるオグラコウホネを、2003年から乙訓の自然を守る会と協力し、生息地の清掃活動を毎年実施されています。

その他、環境マネジメントシステムを運用する中で、省エネの推進によるCO2排出抑制を行っている他、環境に配慮した商品設計や地域の清掃活動など、様々な環境活動を行ってられます。特に、冒頭で紹介した希少植物の保全の活動では、地域の団体と連携されておられ、また、保全の成果を多くの市民の目に触れる形で啓発することで、市民の環境保全意識の高揚にも寄与されています。これらの取り組みは長岡京市環境都市宣言に掲げる「自然と共生する持続可能な社会を目指し、世代を超えた市民と企業や諸団体そして行政等との協働により、生活様式や、社会のあり方そのものを見直す」という理念にも通じるものです。

## 電力充放電システム「eLINK」を中央公民館に設置

本市に工場を有する株式会社椿本チエインより、同社が開発した電気自動車向け充放電装置「eLINK」を寄贈いただき、中央公民館に設置いただきました。寄贈いただいた機器の最大の特徴は、電気自動車のバッテリーを電源として、建物に電力を供給できることにあります。近年、災害の多発化・激甚化、社会インフラ普及日数の長期化などが課題となる中、非常時に電源が確保できる仕組みは大変有効な手段であると考えます。また、平時は市民の電気自動車充電の用に供し、環境負荷の少ない電気自動車の普及促進を図ります。



## 小水力発電機2機目を導入

長岡京市の水道施設である東配水池に流れ込む府営水の流るる力を利用し、水道管に発電機を設置し、発電を行う旨の協定を、株式会社DK-Powerと締結し、年度末に工事が完了し、稼働を開始しました。本取り組みは北ポンプ場に続き2機目となります。年間の発電量は最大で100MWhを見込んでおり、再エネの導入により、約49トンの温室効果ガス削減の効果が期待されます。

